

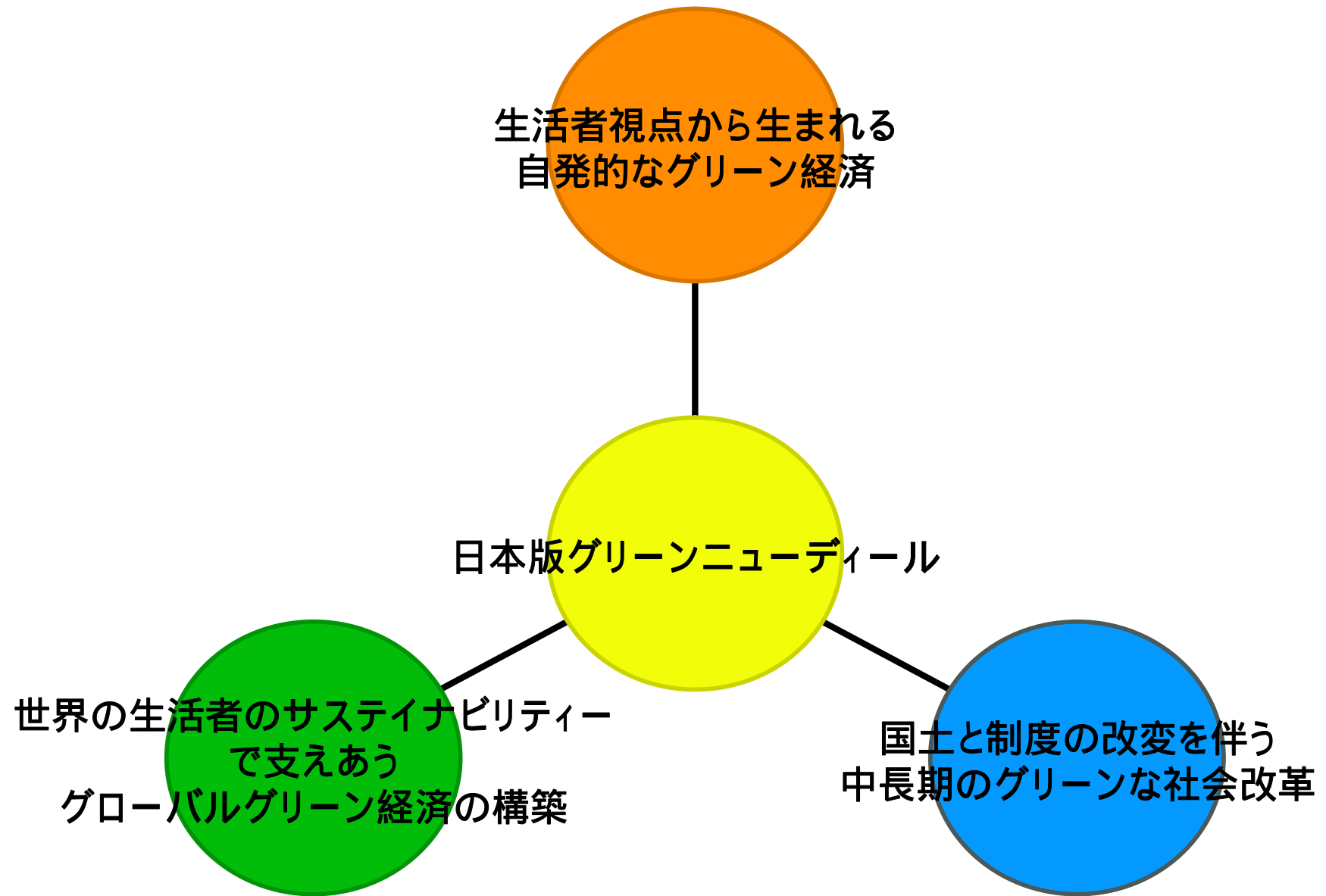
日本版グリーンニューディール 政策立案の構造

- 茨城県筑西市海老ヶ島896
島田設備株式会社(脱温暖化島田設備)
取締役 島田敏

shimdas@green.ocn.ne.jp

ブログ“僕のメタン発酵”

<http://bokumeta.blogspot.com/>



日本版グリーンニューディール 政策立案の構造

- 生活者の視点から生まれる自発的なグリーン経済
 - 国土と制度の改変を伴う中長期のグリーンな社会改革
 - 世界の生活者のサステナビリティで支えあうグローバルグリーン経済の構築
- 3つの構造からなる日本と世界の緑の経済と社会モデル実現政策の提示

3つの視点の持つ意味

グローバルグリーンニューディールの実現によって誕生してくるグローバルグリーン経済から地球環境問題の克服も含めた人類全体の利益を最大限に引き出すための市場経済メカニズムを構築する。その経済システムが地球環境問題を内部化した世界中の生活者の利益を最大化し、かつ自律的なコントロールによって安定化していく持続的な経済モデルを世界に発信していく

地球環境問題をすべての生活者にそれぞれの課題として内部化してもらうことと、それを前提とした新たな自由で伸びやかに育つ“自発的でグリーンな経済”の芽を発見し育成していく

生活者視点から生まれる自発的なグリーン経済

日本版グリーンニューディール

世界の生活者のサステナビリティで支えあうグローバルグリーン経済の構築

国土と制度の改変を伴う中長期なグリーンな社会改革

既存のフレームワークを最大限に活かしながら、産業構造を滑らかかつ迅速にグリーン化し、中長期的にグリーンな国土・生活基盤・制度の転換を雇用を持続しながら実現させていく。

具体的な手法

あしたのための緑の定額給付金の5年間の継続給付と“グリーン”発見キャンペーンとを使った生産者・消費者の共通項としての《生活者》の視点でのマインドセットの転換と生活者の視点に立った多様なグリーンジョブの発見と育成

過度の知財戦略による技術普及のスロー化の防止、世界全体での競争と分業によるグローバルなグリーン化の加速とその弊害としてのグローバル化による社会の空洞化の解決、これらの課題を解決するための世界レベルでの顔の見える化(本当の意味での中身のあるブランド化)によるグローバルでグリーンで自律的な経済の創出

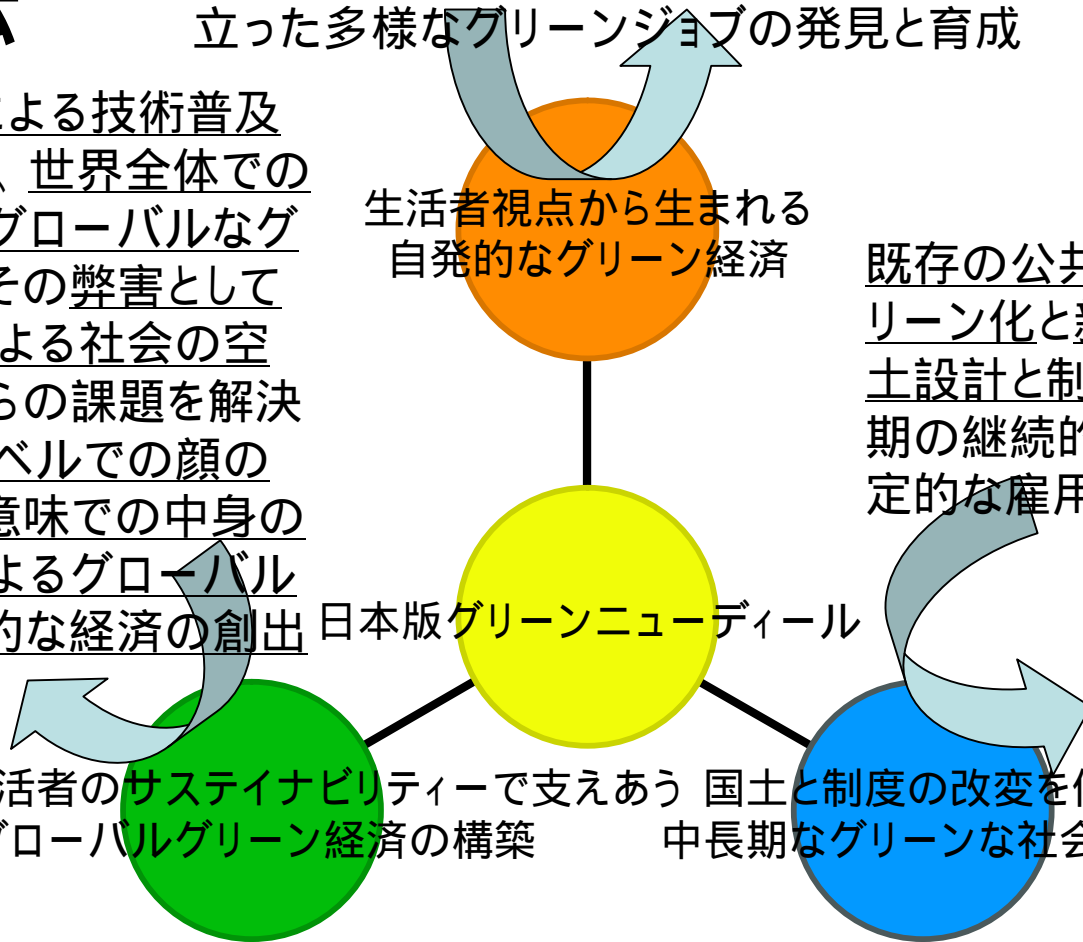
生活者視点から生まれる自発的なグリーン経済

既存の公共事業の枠組みのグリーン化と新たなグリーンな国土設計と制度設計による中長期の継続的かつ計画的かつ安定的な雇用の創出

日本版グリーンニューディール

世界の生活者のサステナビリティで支えあうグローバルグリーン経済の構築

国土と制度の改変を伴う中長期なグリーンな社会改革



グリーンの骨格

- グリーンの理念

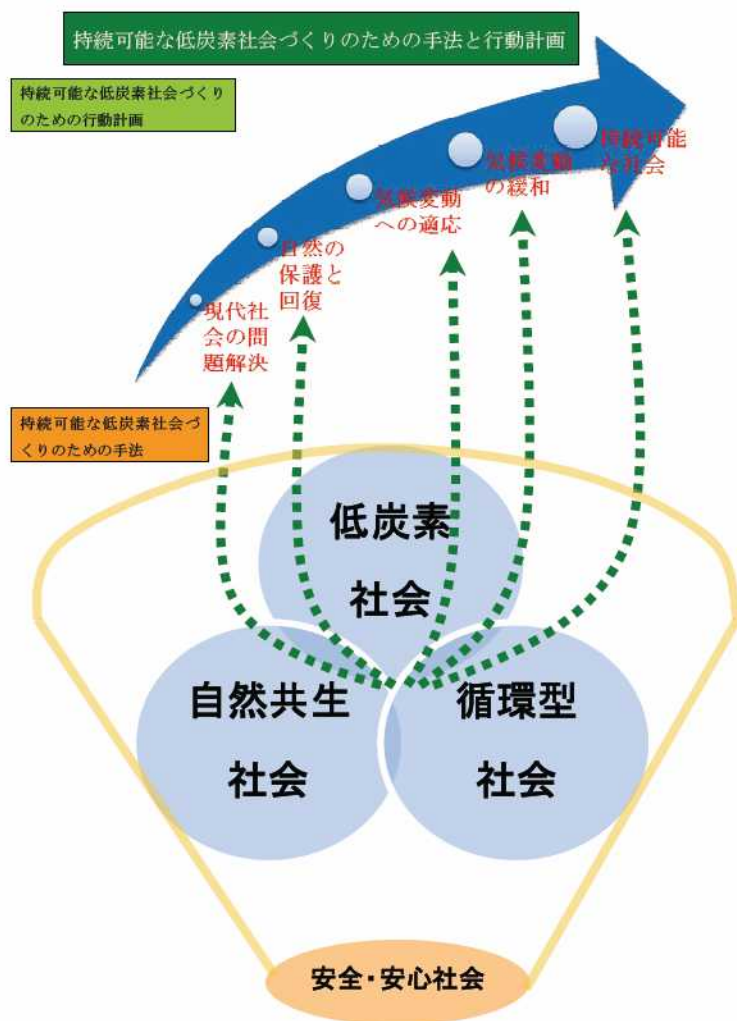
環境の維持・再生と環境負荷の低減

- グリーンの目的

環境の維持・再生と環境負荷の低減によって私達の生存環境を存続・維持・再生すると共に地球の一部である私達そのものや私達の社会そのものも存続・維持・再生する。

グリーンとは、環境や地球環境負荷を低減させることだけでなく地球そのものである私達や私達の生活、私達の社会も同時に修復・改善し、地球との絆やつながりを健康的で健全な状態に取り戻す作業

グリーンを実践するための指標としての 持続可能な低炭素社会構築プログラム



グリーンの実践項目

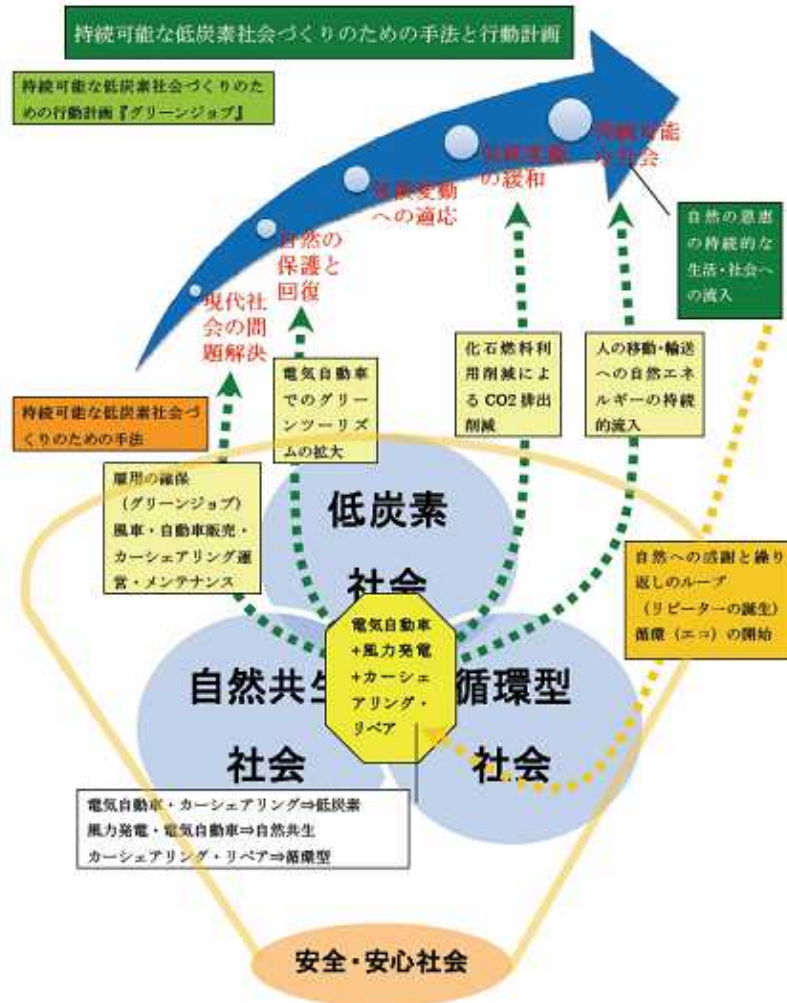
- 現代社会の問題解決
(私達の社会と私たち自身の修復)
- 自然の保護と回復
(膨れ上がるエコロジカルフットプリントの修復)
- 気候変動への適応(予想される変化への対応)
- 気候変動の緩和(私達の力で変えることのできる
ことへの働きかけ)
- 持続可能な社会の実現(次世代と将来世代の
地球と未来ために私達の果たすべき今からできる
仕事)

手法としての4つの社会システム

- 低炭素社会
- 循環型社会
- 自然共生社会
- 生活者の視点から判断する安全安心社会

持続可能な低炭素社会構築プログラム の活用事例

持続可能な低炭素技術の開発の検討ステップ 技術の発見・開発・既存技術



低炭素・循環型・自然共生 3つの社会像を満足する単独技術・ハイブリッド技術の検討(社会技術や利用技術との融合も可能)

統合技術、要素技術に対する生活者の視点からの安全性の安心度のチェック、の繰り返し

5つのグリーン実践項目との関連性の検討(グリーンジョブの発見と課題の検討)

俯瞰的視点からの自立的循環の可否の検討
社会的アシストの必要性の検討と検証

グリーンニューディールによる支援
A) ループの循環強化及び加速化支援
B) ループの自立化支援

ループの循環強化及び加速化支援

- 例(電気自動車)

電気自動車のための充電スタンド設置のための補助・助成

電気自動車駐車料金の無料化

電気自動車を使ったカーシェアリング事業への低利融資制度

ループの自立化支援

- 例) 村落普及員による限界集落維持による山村荒廃化の防止

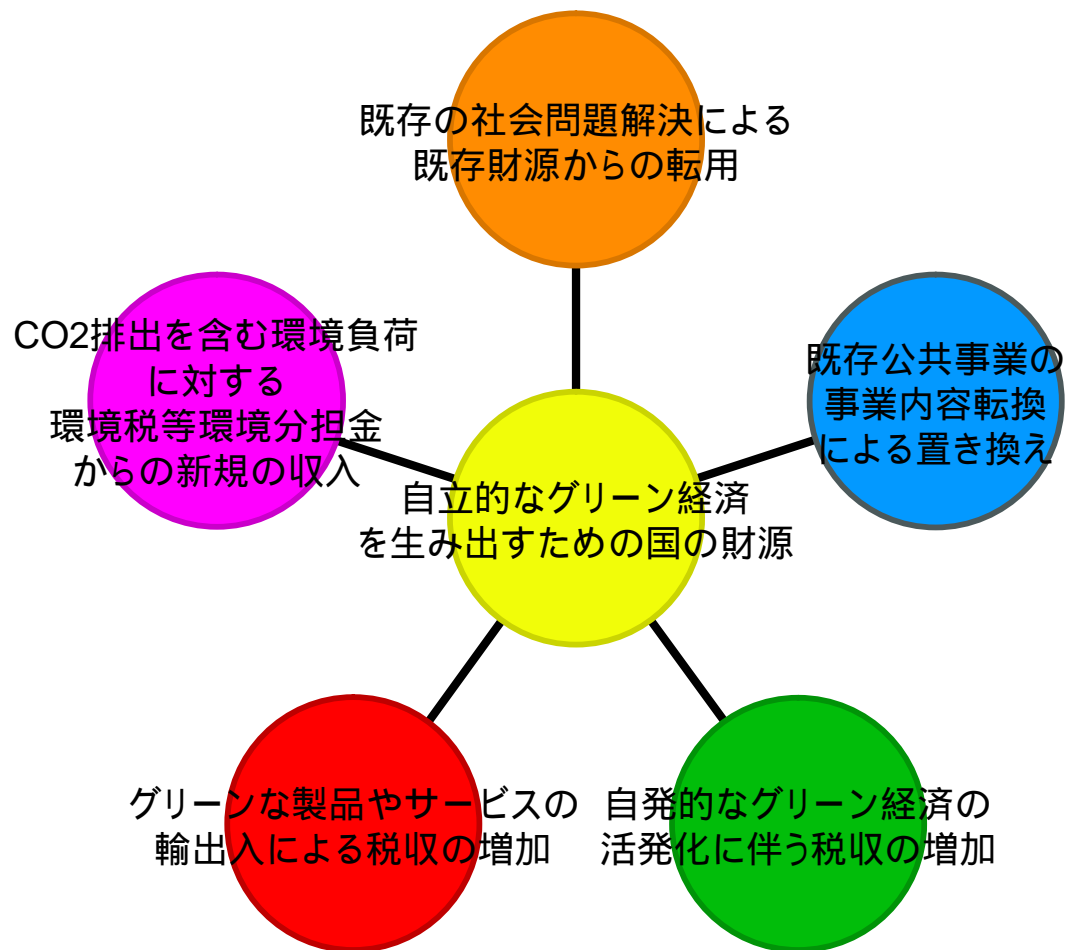
村落普及員への電気自動車の提供(維持費・巡回やお年寄りの医療・買い物のお手伝いの小額定期券化:燃料費が破格に安いことで実現可能)

村落普及員の仕事の副業化

生活アシスト・農業補助・オンデマンドドライバー・林業ボランティア・市街地地区対象の省エネ指導・市街地での出張農産物販売員・児童預かり所等々の業務兼務化により生業収入確保手段を多様化させることで、収入の口を多様化(生業複合)させ、活動を自立化させる支援を行う

など

自立的なグリーン経済 を生み出すための 国の財源



産業のグリーン化は、資源の節約とエネルギーを節約させ、公害などの環境負荷を低減させる。

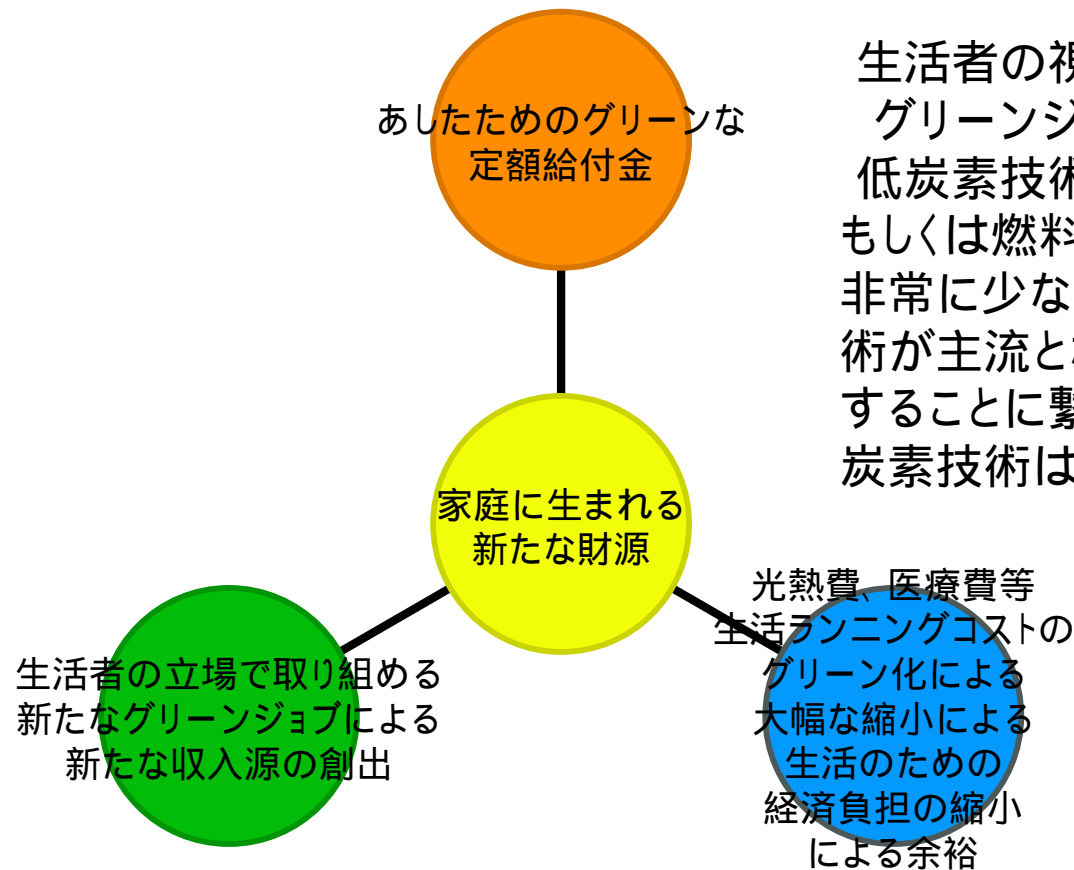
低炭素住宅は結露の防止等により風邪やインフルエンザなど比較的軽度の感染症の発生を低下させ、医療費の負担を低下させる

グリーンな社会では、生ごみ(家庭の42%)は、主に地域や家庭で循環され、包装用の紙・ビニール類の多くはリサイクルされる。このことで、廃棄物処理に関する自治体の費用が大きく低減される。

持続可能な低炭素社会(グリーンな社会)の構築は、既存の社会問題を根本において解決していくため、それらの問題解決のための国の経済負担を低減させることができる。このため、これらの費用はグリーンニューディールの財源として順次、転換が可能となってくる。

家庭に生まれる 新たな財源

グリーンニューディールは、生活者重視の視点



生活者の視点から生まれる新しい
グリーンジョブ
低炭素技術の多くは、ランニングコストゼロ
もしくは燃料に関わるランニングコストが
非常に少なく、資源の利用が少ない生活技
術が主流となる。この結果、家庭を豊かに
することに繋がる。（家庭が豊にならない低
炭素技術は存在しない）

